

# 汽水域研究会2012年（第4回）大会 スペシャルセッション「汽水域の新しい観測・解析技術」

**日時**：平成24年10月7日（日曜日）9：00 - 11：55

**会場**：広島大学学士会館2F レセプションホール

**その他**：興味のある方は誰でも参加可能です（会員以外の方も大歓迎）  
なお入場の際には要旨集代として1000円承ります。

## <本セッションの趣旨説明>

「汽水域研究会」は、国内外の汽水域をフィールドとして研究している個人および団体を結集し、2009年11月に発足した比較的新しい研究会です。一方、近年、科学技術の発達に伴い、汽水域研究の分野でも新しい観測機器や解析技術の発達が目覚ましいものがあります。本スペシャルセッションでは、その中でも、同位体計測、光触媒、数値シミュレーション、リモートセンシングといった最新の観測・解析技術を実践されている講師の方々にご登壇いただき、最先端技術をどう汽水域研究に生かしていくかについて議論することを目的としました。

## <プログラム>

- 9：00-9：05 **趣旨説明** 作野裕司（広島大学）
- 9：05-9：35 **炭酸塩の微小領域同位体計測法と汽水域環境解析への応用**  
坂井三郎（海洋研究開発機構）・高安克己（島根大学名誉教授）・  
David Dettman（アリゾナ大学）
- 9：35-10：05 **光触媒を利用した水質浄化手法の研究**  
畠山恵介（鳥取県衛生環境研究所）・江坂享男（鳥取大学）
- （休憩）
- 10：15-10：45 **瀬戸内海の新たな環境課題の解決に向けた数値シミュレーションの  
取組み**  
石垣衛（広島工業大学）
- 10：45-11：15 **リモートセンシングによる環境観測の最前線**  
作野裕司（広島大学）・渡辺豊（ルーチェサーチ株式会社）
- 11：25-11：55 **総合討論「新しい観測・解析技術を汽水域研究に生かすには？」**  
司会：作野裕司（広島大学）